

一般社団法人日本ELVリサイクル機構

2016年度

貴金属類の共同出荷事業 説明資料

2016年5月

資源循環委員会

本事業のポイント

1. 巡回集荷は年度内に2回実施

■巡回集荷①: 2016年7月20日～8月31日

■巡回集荷②: 2017年2月 1 日～2月28日

→ それぞれの集荷期間は約1か月間

2. 買取単価は各巡回集荷時期の直前に提示

■巡回集荷①の単価: 2016年7月11日までに提示

■巡回集荷②の単価: 2017年1月23日までに提示

本事業のポイント

※買取単価直前提示の理由※

現時点(集荷時期から離れた時期)で買取単価を出すと、リスクを大きく考慮した数字(低価格)になってしまう。集荷時期に近ければ近いほど、よい数字が提示できる。

→ 具体的に、「買取価格を相場によって変動させることはできないか」「下値を設定して上に上がっていく方式を取れないか」といった提案も行いましたが、市場が暴落した場合の受入側のインパクトが大きすぎるために下値だけを固定で設定することはできないという理由や集荷時期の微妙なズレで買取価格が変動するため会員間で不平等が発生するといった理由から、これまでと同様、買取価格は固定する形で進めることとなりました。

→ 回収量が多いと価格交渉がしやすいので、ご協力をお願いします。

本事業のポイント

3. 出荷時期は各事業所で判断

- 集荷時期の直前に提示される買取単価を確認して
出荷するか否かを各事業所で判断
- 7～8月もしくは2月にまとめて出荷 } どちらの
7～8月と2月、両方それぞれに出荷 } パターンでも可

4. 出荷の判断はアサヒプリテックから確認

- 各集荷時期に合わせてアサヒプリテックがELV機構
会員事業所すべてに連絡し、出荷するか否か確認
(出荷する場合はそのまま集荷時期の設定へ)

回収対象物品

■対象物品

(1) コンピューター基板

※ 基板のみの状態

■ エンジンコンピューター基板 (EG/CP基板)

■ エアバッグコンピューター基板 (AB/CP基板)

(2) エアバッグカプラー

(3) センサー類

■ O2センサー

■ A/Fセンサー



抽出が見込める貴金属類

金 (Au) 銀 (Ag) 銅 (Cu) プラチナ (Pt) パラジウム (Pd)

回収対象物品

■荷姿

- ✓ 段ボールでもフレコンバッグでも可。
- ✓ それぞれの回収物品は分けて梱包。
……例えば、エアバッグカプラーとセンサー類を
一緒の段ボールに入れるのはNG。
- ✓ 出来る限り、1品目につき1梱包。
……例えば、コンピューター基板を段ボール3つに
分けるよりフレコンバッグ1つにする方がよい。

※ 手で運べないような大きな荷物の場合は、積み込みのお手伝いをお願いします。

回収対象物品の詳細

1. コンピューター基板

■手順

(1) 二次分別を行う。

解体工程で取り外した部品（一次分別）からカバーを外して基板を回収する。



二次分別

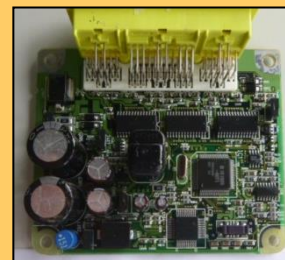


(2) 基板だけの状態にした物品をまとめる。

EG/CP基板・AB/CP基板はすべてCP基板として一緒にまとめて、段ボールなどに梱包する。



EG/CP基板



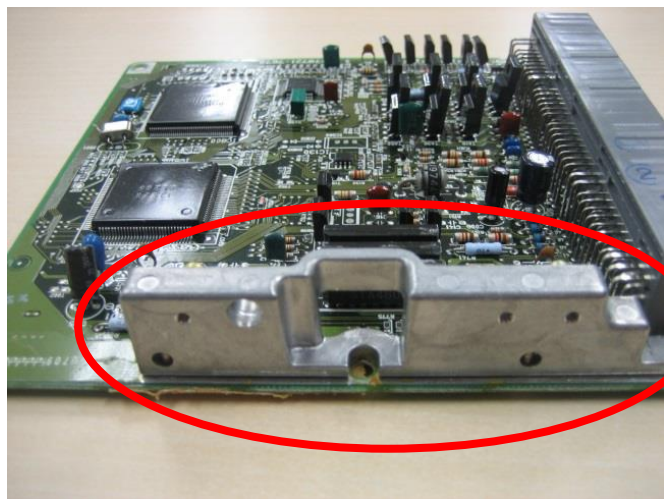
AB/CP基板

回収対象物品の詳細

1. コンピューター基板

■ 注意事項

- ✓ 基板にアルミ板や鉄板等が付いている場合、以下のどちらかの対応をとる。



[例:アルミ板が付いている基板]

- ① アルミ板や鉄板等を取り外す
- ② アルミ板や鉄板等が元々付いていない基板と分けて出荷する

※ アルミ板や鉄板等が付いていない基板と付いている基板とでは単価が異なる。
(アルミ無 > アルミ有)

回収対象物品の詳細

1. コンピューター基板

■ 注意事項

- ✓ カプラーは取り外しても付けたままにしても、
どちらでもよい。
- ✓ カプラーを付けたままにする場合は、必ず
ワイヤーを1cm前後で切断する。

回収対象物品の詳細

2. エアバッグカプラー

■対象

- ✓ エアバッグカプラー（ABカプラー）

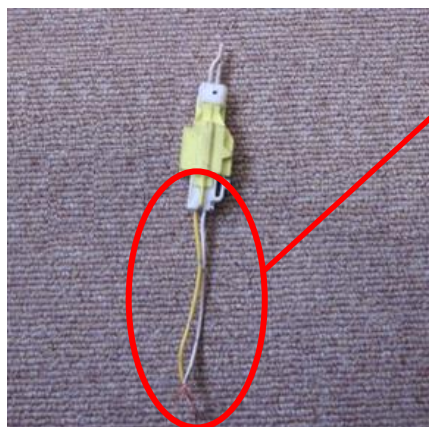
■ポイント

- ✓ 「オスだけ」「メスだけ」でもOK。
- ✓ ワイヤーは極力、短くカットする。

1台からできる限り回収



運転席・助手席以外の
ABからも回収OK



× 悪い例
このように
長いのはNG。



○ 良い例
このように
短いのはOK。

回収対象物品の詳細

3. センサー類 (O2・AF)

■ 対象

- ✓ O2センサー
- ✓ AFセンサー

これら以外のセンサー
(排気温センサーなど)は
対象外なので注意！



~~排気温センサー~~



O2センサー



AFセンサー

回収対象物品の詳細

3. センサー類 (O2・AF)

■ポイント

- ✓ 原則として1台からO2センサーとAFセンサー両方を回収する。
→ 片方しかない場合、片方のみ回収する。
- ✓ ワイヤーは極力、短くカットする。



× 悪い例

ワイヤーが長いのはNG。
極力、短くカットすること。

経費・対価

■ 成果物対価

買取単価は各巡回集荷時期の直前に提示(詳細はP3参照)

✓ アサヒプリテックより検収重量にもとづいて
お支払い

→ 巡回集荷後、1週間以内に各事業所に振り込み。

(振込先＝巡回集荷時にアサヒプリテックが確認)

(振込手数料＝アサヒプリテック負担)

★団体にまとめて振り込む形や
現金での支払いも対応可能。

→ 検収重量は0.5kg単位での取引となる。

■ 回収作業費・梱包材料費

✓ 支給なし

以上、説明終了です。